

八戸市立鮫小学校 環境教育の全体構想

時代や社会の要請

- 地球規模の環境問題への対応の緊急性
- 身近な地域での都市型生活型公害や自然環境の破壊・汚染などの生活環境の悪化
- リサイクル型社会・環境に優しいライフスタイルへの転換の必要性
- 自然観察会・地域探訪等の親子で行う地域での活動の充実の必要性

学校の教育目標

- やさしい子
- 学ぶ子
- じょうぶな子

児童・地域の実態

- 自然環境に恵まれている。
 - ・蕪島（ウミネコ）
 - ・種差海岸（地形・植物）
- 関係諸団体との連携が密。
 - ・自然を守る会
- 自然や身の回りの環境に対して関心が高い児童とそうではない児童の差が大きい。
- 自然に学んだことを日常に役立てていくことが、まだまだ十分ではない。

環境教育のねらい

- ① 身近な環境に対する感受性を養い、環境や環境問題に対する興味関心や心情を育てる。
- ② 自分と環境のかかわりや環境の仕組みに対する見方・考え方を育て、環境の現状や環境問題についての理解を深める。
- ③ 環境全体に対する適切な判断力を養い、環境保全や環境問題に対して主体的に関わっていく意欲や行動力・実践力を育てる。

環境教育での本校のめざす児童像




- ① 環境に対する感受性の育成
 - ・身近な自然環境に触れたり遊んだりする体験的活動を通して、地域の環境に親しみ、自然のよさや不思議さを感じ取ることができる児童。
 - ・地域の人々に会ったり、行事に参加したりすることで、身近な地域の文化や社会の出来事に興味・関心をもつことができる児童。
- ② 環境理解を深める
 - ・簡単な器具や身の回りの材料等を活用して、身近な環境に対する実験や観察を行い、見たこと・感じたことや考えたことなどを自分なりに表現することができる児童。
 - ・生態系や環境全体の仕組みや人間の活動と環境のかかわりや相互作用について、基礎的基本的な内容を理解できる児童。
- ③ 判断力や行動力の育成
 - ・動植物の世話をしたり育てたりすることを通して、生き物や自然を大切にすることができる児童。
 - ・地域の文化的活動や行事などに、自分から進んで関わることができる児童。
 - ・国内や地球規模の環境問題の現状に関心をもって、調べたり発表したりすることができる児童。

環境教育の視点と内容

学習活動	
国語	言語環境を通して、表現力を育てるとともに、思考力や想像力を養い、豊かな感受性を育てる。
社会	社会生活や国土（地域）について理解し、よりよい社会や環境を創り出す行動力を育てる。
算数	事象を合理的論理的に表現する能力を育てるとともに、進んで生活に生かそうとする態度を育てる。
理科	身近な自然に触れることを通して、自然を愛する心情や生命を尊重する態度を育てる。
生活	具体的な活動や体験を通して、自分と身近な社会や自然とのかかわりに関心を持ち、自立への基礎を養う。
音楽	表現及び活動を通して、表現する力、感受する心を培い、豊かな感性を育てる。
図工	表現活動を通して、自分自身を表現する力や感受する心を培い、豊かな感性を育てる。
家庭	衣食住に関する具体的活動を通して、日常における環境問題を解決しようとする意欲的態度を育てる。
体育	適切な運動と健康安全についての理解を通して、健康で安全な生活を営む能力と態度を育てる。
総合的	鮫の自然や人々や文化財や伝統や環境などと進んで関わる体験活動を通して、ふるさとに関心を持ち、進んで関わる力を育てる。

領域等・実践活動		実践の場	
道徳	思いやりの心をもって、自然や動植物を愛護し、環境問題に積極的に関わる心情や実践的行動力を養う。		
特別活動	学級活動	学級の諸問題を見出し、快適な自分たちの学級や生活環境をつくらうとする意欲や態度を育てる。	係活動 教室環境
	学校行事	勤労生産や奉仕的行事 ・自然や社会に関心を持ち、環境美化に努める態度と思いやりの心を育てる。 遠足や集団宿泊的行事 ・自然の美しさや社会のよさを感じさせ、自然や人間に対する思いやりの心を育てる。	蕪島清掃 学年園の世話 蕪島へのなかよし遠足
	クラブ活動	異年齢集団の様々な活動を通して、学校生活の充実と向上を図るとともに、地域の人間や自然に対する思いやりの心を育てる。	クラブ
	児童会活動	各委員会活動や集会活動を通して、学校生活の充実と向上を図るとともに、地域の人間や自然に対する思いやりの心を育てる。	あいさつ運動 募金活動
保健安全	健康安全に関する指導を通して、自他の生命の尊重と安全を保持する意志力を育てる。	交通安全教室 避難訓練	
学校給食	給食を通して、明るい社会性を身につけさせ、豊かな心情と思いやりの心を育てる。	給食の時間	
環境整備活動	学習環境をつくることや掲示教育を通して、豊かな感受性を図るとともに、自然を愛する心情や生命を尊重する態度を育てる。	校舎内外の環境整備	

4年総合的な学習の時間 年間計画

					住みよい町 鮫町 ウミネコ観察隊		
月	4月	5月	6月	7月			
総合的な学習の時間	<p>うみねこ観察隊 —30— 【燕島のうみねこのひなの様子を継続観察したり、うみねこについて調べたりすることにより、地域の貴重な自然環境に気付き、それを大切にしていこうとする気持ちを持つ。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題作り ② ○実地調査 ④ ○観光協会の方から話を聞く ② ○レポートをまとめる ⑩ ○調査、体験内容をまとめ報告会 ② 					<p>ました。</p> <p>ウミネコのたまごの大きさはニワトリのたまごと同じくらいです。生まれて50日巣立ちの時期です。4才で大人です。</p>	
						<p>燕島には3万羽から4万羽います。巢は土を少し掘り、草をのせてつくりまます。たまごは30日くらいあたためます。5月から7月までえさをあたえます。えさはイワシやコウイカなどです。</p>	
備	国語：新聞記者になろう				8月26日の燕島清掃でウミネコの離島を確認しました。		

5年総合的な学習の時間 年間計画

紹介しよう 種差のすばらしさ 残そう種差の自然				
月	4月	5月	6月	7月
総合的な学習の時間	<p>種差の自然のすばらしさに気付こうー30ー</p> <p>【前年度の観察と今年度の活動から燕島種差海岸の貴重な自然環境に気付き、それを大切にしていこうとする気持ちを持つ】</p> <p>【相手の話から質問を発展させる「生きた質問」のしかたを学ぶ】</p> <p>○名勝種差海岸について知っていること、疑問に思うことなどを発表し合い、詳しく知りたいことをまとめる。①</p> <p>○自然を守る会の方の話を聞き、疑問に思っていることを質問する。②</p> <p>○お話をもとに、遊歩道の観察の際の課題を決める。④</p>			
	備考	<p>自然を残すために、素晴らしい地域の自然を知ることから初めています。この自然が私たちの心に残り、すばらしさを語り、保全を意識してくれることを臨み教育課程の中に位置づけています。</p>		

